

平成 24 年度第 2 回 史跡・建築部会（合同開催）

会議録

- 1、日 時：平成 24 年 12 月 14 日（金） 9 時 30 分～12 時 00 分
- 2、場 所：熊本市役所古京町別館第 1 研修室
- 3、出席委員：田中史跡部会長、斎藤建築部会長、伊東委員、今村委員、北野委員、高瀬委員、（山尾委員、欠席）

4、会議録（要旨）

【報告事項】

○ 事務局説明

- ・ これまでの史跡・建築部会に関する経過を報告する。
- ・ 前回の部会と文化庁担当調査官より指導いただいた資料構成や整備対象年代など修正した国復元検討委員会資料案について説明する。

【審議事項】

(1) 平左衛門丸塀復元整備について

① 廊下塀と土台と床について

○ 事務局説明

- ・ 土台を石製とし、内部床を土間たたきとする事務局案を説明する。

○ 委員からのご意見

- ・ 廊下塀の柱列の「●」は、角柱でなく丸柱として復元すべきである。
⇒ 国復元検討委員会資料を修正して提出することで了承。
- ・ 廊下塀内側の土台は、木製とする方が適当ではないか？国復元検討委員会資料案としてはこのままで良いが、次回部会において床をどうすべきか再検討した上で決めるべきである。
⇒ 国復元検討委員会資料を木土台に修正して提出し、次回の部会において再検討資料を提出することで了承。

② 土塀（籠塀）控柱について

○ 事務局説明

- ・ 御肴部屋檜際の本のみが木製で、その他はすべて石製とする事務局案を説明する。

○ 委員からのご意見

- ・ 土塀の控柱痕の説明に「木製」とは断言できないので、説明を改めること。
⇒ 国復元検討委員会資料を修正して提出することで了承。
- ・ 古写真に写る土塀の控貫は復元図のような傾斜はなく、水平に近いのはいか。（城内類例では、傾斜があり、耐久性なども考慮すると傾斜があったほうが良いとの意見もあり）
⇒ 今後さらに検討するよう指導いただく。

③ 石垣天端位置について

○ 事務局説明

- 石垣解体修理範囲の天端高さを解体しない部分の高さに調整する考え方と天端石欠失部分について補足石にて高さ調整する事務局案を説明する。

⇒ 事務局案で了承。